

# 【生活・小2・「ぐんぐんそだてわたしの野さい」】①

## 育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

育てているミニトマトの様子について、写真と文字で観察カードを作ることを通して、成長したミニトマトの特徴を分かりやすく伝え合うことができる。

## ICT活用のポイント (本時)

ICT端末（ホワイトボード機能）及び大型提示装置を活用し、成長したミニトマトの特徴を観察カードに整理して伝え合う活動の充実を図り、児童一人一人のミニトマトの特徴に対する気づきの質を高める。

### 【つかむ】

自分のミニトマトについて観察したことを想起し、本時のめあてをつかむ。

<めあて>

かんさつカードをつかって、分かったことをつたえあおう。

### 【追究する】

観察カードに自分が気付いたことを整理し、ミニトマトについて伝え合う。

### 【まとめる】

ミニトマトの花の特徴をまとめ、本時の振り返りをする。

## 事例の概要

- 「葉」に焦点を当てて観察カードを作成したことや、花が咲いた自分のミニトマトを観察したことを確認し、自分が気付いたことを観察カードに整理して友達と伝え合うことをめあてとしてつかむ。
- 国語科「かんさつ名人になろう」で学習したことを確認し、「大きさ」「形」「色」「数」「長さ」「におい」の観点から、自分が気付いたことや思ったことを選択し、ホワイトボード機能を使って各自で観察カードを作成する。
- 自分が作成した観察カードを見せながらペアで気づきを伝え合う。友達と自分の観察カードを比較し、互いの気づきや書き方のよさ、工夫しているところを伝えたり、質問したりする。
- 大型電子黒板で画面共有しながら、学級全体で「花」に焦点を当てて気づきを伝え合う。詳しく聞きたいことを質問し、ミニトマトの特徴や成長への気づきを共有する。
- 大型提示装置（電子黒板）で4種類の野菜の花の写真を映し、ミニトマトの花を選んだ後、ミニトマトの特徴や観察カードのまとめ方について振り返る。

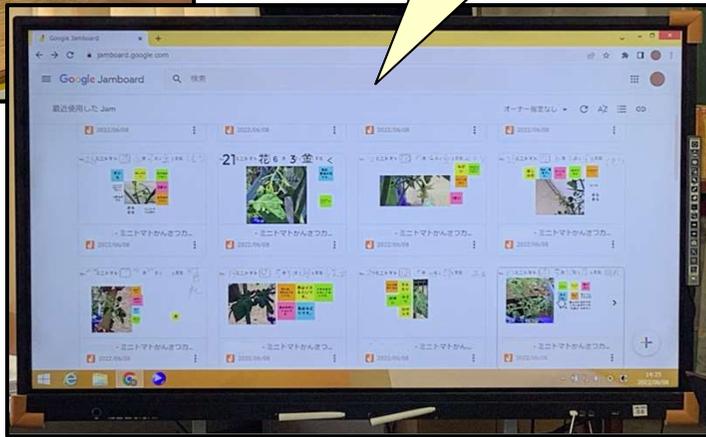
# 【生活・小2・「ぐんぐんそだてわたしの野さい」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



個別に  
気づきを入力

全体で  
気づきを共有



各自で観察カードを作成する場面において、観察時に撮影したミニトマトの写真や動画を見ながら、観察カードに整理することにより、自分の気づきを再確認し、明確にすることができた。

ホワイトボード機能を使い、画像をトリミングして添付したり、「大きさ」「形」「色」「数」「長さ」「触った感じ」「におい」の観点をデジタル付箋で色分けさせたりしたことで、自分の気づきを分かりやすく表現することができた。

デジタル付箋は複製や書き直しが容易であり、子供たちの操作スキルもすぐに向上し、自分の思いに合わせて観察カードを作成する姿が見られた。また、観察カード作成時から、操作スキル等も含めて学び合う姿が見られた。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



ペアで整理した観察カードを見せ合いながら、互いの気づきを交流した。ICT端末の画面上のミニトマトの写真を指し示し、花について自分の気づきを伝え合う子供の姿が見られた。

その後、大型電子黒板で子供が整理した観察カードを提示し、学級全体で交流した。観点を色分けして表現させたことは、それを基に気づきを比較する上で効果的であった。子供たちは、互いの気づきについて質問したり説明したりすることを通して、ミニトマトへの自分の気づきを確かにすることができた。育てているミニトマトの実物をいくつか教室へ運び込み、同時に確かめながら共有ができると、大きさや触感、におい等、より実感を伴うことにつながる。

【活用したソフトや機能】

ICT端末

大型電子黒板

学習支援ソフト（情報共有機能）